

平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	お菓子屋さん・パン屋さん 実践職業体験講座		
法人名	学校法人 晃陽学園		
学校名	つくば調理製菓専門学校		
代表者	理事長 齋藤 行信	担当者 連絡先	今井 恭子 029-870-5454
<p>1. 事業の概要</p> <p>中学生や高校生など、これから職業について真剣に考える世代を対象に、専門学校の職業教育機能と、職場（ベーカリー）の実践研修機能を活かし、両者の連携の取れた職業体験講座を提供した。また、事業終了後、アンケート調査を行い、事業の効果を確認し、今後の事業展開の参考とした。</p>			
<p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>定員12名中12名の参加があり、全4日間の講座で、出席率は98%であった。</p> <p>講座の雰囲気は、最終日の現場研修に向けて明らかに参加者の意識が高まってゆく様子が見られ、自発的、能動的に学んでいる様子が伺えた。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>1、コミュニケーション…実習・講義・見学・ベーカリー研修、全て一貫して挨拶や返事など職場でのコミュニケーションの重要性を強調した。</p> <p>最終日の研修を迎える頃には、全員が正しく挨拶、返事ができるようになった。</p> <p>2、知識・技術…3日間の専門学校内での研修で学んだことを、最終日のベーカリー研修で発揮することができ、良い緊張感と、充実感のある研修となった。</p> <p>3、意識啓発…最終日に行ったアンケート調査では、12名中12名が、この講座を「食」の仕事を理解する上で参考になったと評価している。また、現場研修では、自分が関わった商品が売れてゆく様子に感動し、意欲を増す参加者が多かった。</p> <p>4、カリキュラムの確立…職業理解・職業教育には何が必要か、現場と学校が何度も話し合いを重ね、内容を絞り込んでテキストやカリキュラムを作成した。</p> <p>今後、未就労者への効果的な意識啓発の講座としてひとつの雛形ができた。</p>			

### ③今後の活用

中学校、高校等からの職業体験の依頼など、さまざまな職業意識啓発の場面で、今回作成したカリキュラムやテキスト内容、学校と現場の協力体制を生かすことが可能である。

### ④次年度以降における課題・展開

専門学校と職場が連携した職業体験講座は、参加者にとって効果的な意識啓発ができるという実証を得ることができたが、ひとつの学校、ひとつの職種にとどまらず、いろいろな業種が連携をして講座を作り、様々な職種を選択して参加できるような講座に発展させることが重要である。

## 3. 事業の実施に関する項目

### ①職業体験講座、講演会の実施

\* 専門学校内での研修(全3日) 平成19年11月10日・17日・18日

- ・実習(製菓・製パンの基礎実習)
- ・講義(①接客・衛生管理 ②世界のパンの種類 ③ベーカリーの仕事・現場実習の注意)
- ・見学(ベーカリー見学)

\* ベーカリー研修(全1日) 平成19年11月23日～12月8日

- ・始業ミーティング・製パン作業・接客・販売管理・終業ミーティング

\* 研修ノートのまとめ・アンケート調査

#### [アンケート調査結果の概要]

調査対象 : 講座参加者12名 [学生10名(中学生以下5名・高校生以上5名)・一般2名(未就労者)]

#### ①講座参加の理由(複数回答)

就職・開業を志望して(25%)、仕事に興味があつて(67%)、勉強のため(67%)、その他(17%)

#### ②「食の仕事」を理解するうえで参考になったか

参考になった(100%)、参考にならなかった(0%)、どちらともいえない(0%)

#### ③4日間という開催期間について

丁度良かった(67%)、短かった(17%)、長かった(17%)、その他(0%)

#### ④内容について(複数回答)

面白かった(67%)、興味がわいた(67%)、難しかった(25%)、物足りなかった(0%)

進行が早すぎた(8%)、その他(0%)

#### ⑤教え方について

わかりやすかった(92%)、わかりにくかった(8%)、その他(0%)

#### ⑥興味がわいた内容(複数回答)

製菓製パン実習(75%)、ベーカリー見学(17%)、講義(33%)、ベーカリー研修(92%)

### ②その他

#### [特色・工夫した点]

\* 専門学校(製菓製パン学科)と職場(ベーカリー)が連携して効果的な職業意識啓発事業であること。

\* プロの作業服(コックコート)を着用したり、腸内細菌検査を行うなど、技術面や精神面だけでなく、衛生面においても、仕事としての緊張感を高める工夫をした。

\* 正規の課程に在学中の学生をアシスタントにつけて参加者との交流を行うことで、両者の意識が高まっ

た。